

ひだか 議会だより

HIDAKA GIKAI DAYORI

第155号

平成26年8月1日



6月29日の村内一斉清掃

行政報告	2～3P
審議したこと・決まったこと	4～5P
議員提出議案	6P
委員会活動	7～8P
一般質問に4氏が立つ	9～12P
議会日誌	13P

行政報告(要旨)



戸梶眞幸村長

「新図書館」 建設について

5月19日に日高村立図書館建設検討委員会より検討結果の報告を受けた。昨年度5回にわたったの協議内容や、日高読もう会が実施した村民対象のアンケート調査の結果が反映された。「新図書館基本構想」では、「いい場所・居場所・好きな場所」と題して、村民が気軽に集える魅力ある図書館を目指し5万冊が収蔵できる図書館の図面や、職員・運営体制などが提案された。これを受け本年度は、建設委員会を立ち上げ報告書をベースに具体的な建設に向けて検討を行いたい。

「さんさん市」 改修状況

仮設店舗が完成し、現店舗の商品なども移設し営業をしている。今月から本体の改修工事に取り掛かり10月末までの完成を目指している。集客力を高める魅力ある店舗と運営体制の強化を図るため、アドバイザーを招き施設の運営検討委員会を立ち上げて、8回にわたる検討委員会の結果、第3セクターによる新しい運営体制案並びに収支計画案ができた。今議会に出資金等関連予算を提案しており、7月内に株式会社を設立し、仮設店舗の運営や「村の駅ひだか」開店準備に取り組みたいと考えている。

さんさん市を運営する日高村野菜直販市出荷者協議会は、3月28日の総会において、本年7月をもって協議会を解散することが決定された。村では新たに「村の駅ひだか」に設置する直

販所「さんさん市」への出荷者を募集しており、6月頃に(仮称)村の駅ひだかさんさん市出荷部会として新たな組織を立ち上げ、村の駅ひだかへの農産物等の供給体制などの準備を進めたいと考えている。「村の駅ひだか」の駅長(支配人)については、2人の方より応募があり面接等の結果、村内の経験豊富な方にお願いし7月1日から村の臨時職員として雇用し、新会社設立時には社員に移行する予定である。

日高村太陽光発電 事業計画

沖名洪川残土処理場跡地を候補地とする高知県・日高村地域還流メガソーラー発電事業は、3月5日付で四国電力より系統連系照会に対して可能という回答があった。また3月24日付で経済産業大臣より再生可能エネルギー発電設備の認定通知を受け、5月14日に高知県、日高村及び(株)荒川電工グループの3者で「こうち・ひだかメガソー

移住促進事業

ラー株式会社発起人会」を開催し、日高村長が代表取締役となることや定款、資本金等の承認を行った。5月26日に定款の認証、出資金の振込、5月29日に設立登記がされ、6月4日に株主総会、取締役会が開催され正式に発足した。7月頃に建設工事の着工となり12月頃には発電が開始される予定である。

昨年度沖名大川内で県のUターン希望者住宅改修事業補助を受け改修補助した住宅について、3月28日に大阪府より親子4人の方が入居され、村の移住促進事業最初の移住者となった。また、能津宮ノ谷に昨年度整備したお試し滞在住宅については、平成26年4月7日付で高知県中央西保健所長より旅館業許可(簡易宿所)を受け、ホームページ等で募集を行い、島根県の2人の方が5月14日より28日間の予定で利用されている。現在、長畑地区をはじめ村内で2〜3カ所の地

オムライス街道

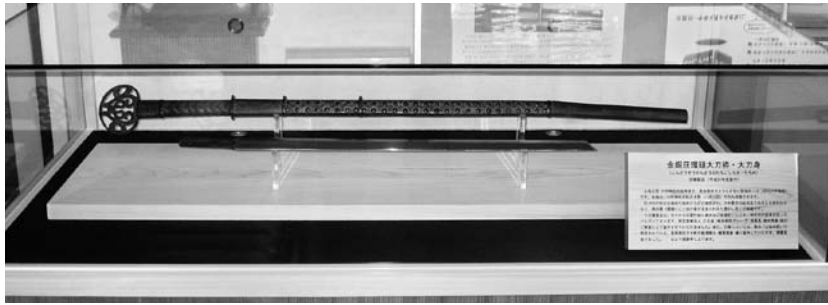
本年4月よりスタートし、マスクミ等で報道され大盛況となる。新聞報道によるとスタート前の3月は約1千200食の注文が、スタート後の1カ月間では3千725食と3倍を超えるオムライスの注文があったと聞いている。店がわかりにくくあり急ぎよ、のぼり旗の増刷で対応した。いろいろの課題もあり、先月末に係飲食店に集まっていた。き今後の話し合いを行った。その中で各店舗のPRや新しい情報を掲載した新聞を定期的に発行するなど情報を広く継続して発信していくことなどが確認された。このブームが一過性とならないよう知恵とアイデアを出し合い更なる発展を願っている。

土電バス路線

今秋をもって廃止の方向で進んでいるので、中央地域公共交通再構築議論へは参加していないが、廃止されるとJR駅までの交通手段がなくなることや、高知市中心部へ直接行くことができなくなるなどから、今後交通協議会を開催しデマンドバスの活用等を含めた検討をする。

金銅荘環頭大刀 レプリカの完成

細木病院理事長の細木秀美様から金銅荘環頭大刀レプリカ制作費として、ふるさと納税をいただき作成していたが、このたび完成となった。大刀の拵えは、文化財の複製や修復などを専門に扱っている京都の会社に制作を依頼した。また、大刀身は、四万十町で鍛造業を営まれている熟練技能を持ち、高知県の「土佐の匠」の認定を受けている梶原照雄様に制作をしていただきますとともに、ご厚意



金銅荘環頭大刀レプリカ(役場に展示)

により寄贈をしていただいた。レプリカ制作については、関係する皆様の多大なご支援を賜り完成に至りましたこと、この場をおかりして心より感謝申し上げます。現在は役場ロビーに展示しているが「村の駅ひだか」がオープンした際にはそちらで展示し、最終的には新設される図書館での展示を検討している。

敬老会補助金

制度開始は、補助金の500円に各自治会で費用の不足分をプラスし、村の振興発展にご尽力いただいた先輩方に、感謝することを目的に各自治会で敬老の催し等の式典を行っていたが、近年は自治会の会計上の問題や催し事ができない事情等から、500円をそのままお渡しする、あるいは500円の商品券をお渡しする等の自治会が多数を占めた。現在の1人当たり500円という算出方法は、1人≒500円となり個人の権利となる。申請方式制度とはいえ現金の給付制度に近い形となり好ましくないとと思われることや、公平性等の問題から全員への配布に伴う事務の煩雑や自治会長のご苦勞等から当初予算での計上を見送ったが、多くの自治会長が希望されていることから、現在は、申請による総合補助金として実施している「夢アイデア補助金」、「地域でがんばる補助金」、「自治会元気づくり応援補助金」とし



江尻親水公園予定地

て組み込めないか検討している。9月議会をめぐって制度設計を行いたいと思う。

江尻親水公園

国土交通省より3月26日付で、かわまちづくり計画の登録通知を受ける。今後は事業採択に取り組み、早期の完成を目指す。

平成25年度決算 見込み

一般会計予算3千71万円の黒字、国民健康保険特別会計予算4千777万円、介護保険特別会計予算172万円、簡易水道特別会計予算431万円、後期高齢者特別会計予算235万円とそれぞれ黒字決算の見込みである。基金残高は、2億2千512万円の増額見込みである。今後、監査委員の決算審査後、9月議会認定審議をお願いする予定である。

平成26年第2回定例会

審議したこと 決まったこと

H26.6.9~6.13

6月議会では、同意(人事)1件、議案(条例改正)3件、議案(補正予算)4件、その他2件の10件が決まった。

人事

◎固定資産評価審査委員会委員に大川啓司氏を選任することに同意した。



大川啓司氏

条例

◎日高村分担金徴収条例の一部を改正する条例
農林水産事業に係る分担金の一部を改正する。

住所 日高村宮谷503番地
生年月日 昭和24年5月5日
任期 平成26年6月25日から29年6月24日まで

◎日高村福祉医療費助成に関する条例の一部を改正する条例
「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」の改正に伴い改正する。

◎日高村営住宅等の整備に関する基準を定める条例(新規)
公営住宅法第5条が改正され、公営住宅及び共同施設は、事業主体が条例で定める整備基準に従って整備することとなったため必要な条例を制定する。

予算

(△印は減額)

◎平成26年度日高村一般会計補正予算(第2号)
歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ4千905万2千円を減額する。

主な歳入

国庫支出金△4千839万円、県支出金△1千938万1

千円、繰入金△610万1千円、諸収入208万円、村債2千250万円、その他24万円

主な歳出

総務費△572万8千円、民生費361万3千円、農林水産業費△6千74万2千円、土木費976万8千円、消防費200万円、教育費152万9千円、その他50万8千円

質疑

問 トマト出荷場整備事業補助金の減額の理由は何か。

答 選果場の光センサー高度化事業の申請をしたが、県内各市町村で多くの要望があり、採択基準のポイント制による審査で他の市町村のポイントを上回ることができなかったことにより不採択となる。来年度以降に再度申請をしていきたい。

問 コミュニティ助成事業の水浄化装置の保管場所と今年の防災訓練で使用できるのか。

答 西田備蓄倉庫に保管する予定である。防災訓練での使用は、県より内示を受けており、今年の防災訓練で使用したいと考えている。

問 日下小学校の国有地使用料用地購入費とあるが、今予算で用地購入の完了となるのか。

答 国土調査により日下小学校の用地内に赤線・青線が存在することが判明し、国財務局と協議において買い上げの準備を進めており、今回で終了の予定である。

問 農地・水保全管理交付金事業は、名称の変更で減額になっているが内容は。また、国・県・村の割合はどうか。

答 平成26年度、国の制度変更により新制度となり、今回予算の組み替えを行い多面的機能支払いとなった。これにより、今までの補助金は、村を経由して水と環境を守る会に補助する形態であったが、新制度により県の補助金は、村を経由せず水と環境を守る会に補助

されることとなり、予算の組み替えを行った。補助金割合は、国が2分の1、県が4分の1、村が4分の1である。

問 運動公園の東屋修理の状況はどうか。

答 現在、東屋2カ所を修理中であり、間もなく完成となる。

問 猿田洞活性化事業の修理費等の内容を知りたい。

答 洞内のタラップ修繕費と洞入口の防犯灯修繕費を計上している。

問 猿田洞を訪れた方々が安心して入洞できる施設整備をしてはどうか。

答 洞内の危険な箇所等に、橋や鉄板を設置しており、これらの腐食等の点検を重点的に実施していきたい。また、以前は、洞内にランプを設置していたが配線が邪魔ということで撤去したということもある。できる



沖名地区猿田洞内

だけ現在の自然状態を活かしながら、危険のないようにしていきたい。

問 日高村社会福祉センターの駐車場の拡大ができないか。

答 今後、検討をする。

問 観光案内板の内容を知りたい。

答 「村の駅ひだか」の案内板を国道上に設置するものである。

問 育苗センター施設整備事業補助金の内容は。

答 育苗センターは、現在育苗約6万枚の供給体制

であるが、JAのと合併等もあり10万枚の供給体制を計画しているが、場所が狭いため施設整備の補助を行うものである。また、当初予算では、補助率2分の1で計上していたが、育苗センターについては、10分の4ということであり変更を行っている。

◎平成26年度日高村国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額に歳

入歳出それぞれ135万3千円を追加する。

主な歳入

繰入金135万3千円

主な歳出

総務費135万3千円

◎平成26年度日高村簡易水道特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出372万円を追加する。

主な歳入

繰入金372万円

主な歳出

総務費372万円

◎平成26年度日高村介護保険特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ9万9千円を追加する。

主な歳入

繰入金9万9千円

主な歳出

地域支援事業費9万9千円

その他

◎鴨地辺地の総合整備計画の変更について

5カ年計画の最終年度にあたり、全体事業費の精査を行った結果、事業費が増額となり第2回目の変更を行う。

◎字の区域変更及び名称の変更について

平成24年度の国土調査結果により、大字下分字加賀谷の一部は圃場整備により飛び地となっており、大字下分字今宮と一体化して使用されているため、字の区域変更により整備を図る。



平成26年度6月議会 議員提出議案

◎手話言語法制定を求める 意見書

手話とは、日本語を音声ではなく手指や表情に変えて表現していると思われがちであるが、本来は独自の語彙や文法体系を持っている言語である。音声が届かない、音声で話すことができないなど聴覚障害者にとって、日常を営む上で、手話は大切な情報獲得とコミュニケーションの手法である。よって政府においては、手話言語法を早期に制定するよう強く要望する意見書の提出を求めるもの。

提出議員

森下雅文・西川龍子・壬生豊秀・戸梶章・野村重夫・矢野孝明・森下芳文・岡本光男・横山泰昌

全員賛成 可決

◎単独処理浄化槽から合併 浄化槽への転換促進に対す る国の財政支援を求める意 見書

家庭から出される生活排

水、トイレ、台所、洗濯、風呂等の汚水排水をすべて処理して、河川等に戻す合併処理浄化槽の普及促進により、公共用水域の環境整備が一段と進んでいる。これは、国が積極的に合併処理浄化槽の設置費補助を促進してきたことが大きいと考えられる。ところが、トイレの汚水処理用に設置されてきた単独処理浄化槽は、現在は製造中止となっているものの、過去に設置されたものが依然として多く稼働している。この単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換促進を図るため、国において更なる積極的な財政支援を講じるよう強く求める意見書提出を求めるもの。

提出議員

壬生豊秀・森下雅文・西川龍子・野村重夫・戸梶章・矢野孝明・森下芳文・岡本光男・横山泰昌

全員賛成 可決

江尻神母樋門排水ポンプ車訓練状況



仮設の揚水用配管(上流側)



排水ポンプ車(電源車)



下流への排水口

閉会中の委員会活動報告

総務常任委員会



委員長 壬生豊秀

5月23日(金) 午後3時より

森下(純)総務課長より

工事入札制度の変更について説明を受ける。

- ①日高村一般競争入札実施要綱と指名競争入札実施要綱等について8件の改正または、新規に作成した。次回より適用する。
- 2つの入札実施要綱の主な違いは、土木・建築工事一式の請負対象金額が5千万円以上が、一般競争入札。5千万円未満が指名競争入札となっている。
- ②一般競争入札の参加制限は、工事の金額によるが

日高村に住所を有する営業所のみ、ある一定の制限を設けて実施する予定。参加要件・資格審査等については、内容によつての土木事務所関係者等が参加した入札参加選考委員会を立ち上げる予定であり、この委員会の審議を得て村長が決定する。そして、土木工事、舗装工事の区分けをし、土木工事Aランクは発注工事額1千万円、Bランクは200万円以上、Cランクは200万円以下。舗装工事についてはAランクが200万円以上、Bランクが200万円未満。

片岡教育長より

新図書館の基本構想について説明を受ける。

日高読もう会の要望を受け委員会を立



現在の図書館コスモス文庫

ち上げ、5回の検討会を行った。建設場所は、現在の場所利便性、用地の広さから一番の適地であるが浸水の心配がある。委員より水害があつてはならない。水害時を考えて、より安全な対策を建設委員会で検討すべきと申し入れがあつた。

経済建設

常任委員会



委員長 野村重夫

5月22日(木) 午後1時より

大川内建設課長より

- ①日下橋交差点改良事業に伴う国道33号歩道計画の本年度事業は、東側延伸区間における用地測量、日下橋右岸橋台及び交差点部における暫定供用開始に向けた工事等を予定している。
- ②日下川流域における河川改修計画について、中央西土木事務所より概略の河川改修計画が作成された。

③村道繁谷平野線改良事業

について、本年度は用地調査及び一部用地買収を行う。工事については平成27年度より着手する。

④本郷の村営住宅建設は、

実施設計が完成し設計住宅性能評価を行つており、評価完了後6月中旬に工事発注をしたい。

- ⑤村営住宅夢団地1棟の入居は入居者選考委員会に諮り決定する。国岡団地入居は、日下橋交差点改良工事による立ち退き者より希望する2人の方を優先する。
- ⑥高知県議会産業土木委員会に6項目の陳情を行つた。
- ⑦5月29日の水道使用料金が消費税5%で計算されていたため、システム修正のお詫びの通知と再検針を行った。

松岡健康福祉課長より

- ①年度の「いやっし〜土佐」への送迎人数は、5月16日まで実人数13人、延べ66人の利用となっている。
- ②本年度の戦没者追悼式は、8月15日に行う。

藤田産業環境課長より

日高の川を美しくする会が5月17日の総会で、平成26年度末に解散し、活動の一部は平成27年度よりグラ

ウインドワークひだかむらに
移行する方針となった。



改良を待つ村道繁谷平野線

日高村振興対策 特別委員会



委員長 岡本光男

5月22日（木）・午前9時
より

大川内建設課長より

岡花住宅建て替えの報告

を受ける。現在、設計住宅性能評価を行っており、6月には工事の発注を行いたい。計画は、平屋建て2棟、2階建て3棟、駐車場5台、駐輪場・ゴミステーションとなっている。入居には、全ての関係書類が整うことが条件である。

藤田産業環境課長より

さんさん市改修進捗状況の報告を受ける。現在、仮設店舗工事を行っており5月の完成予定。完成後は現店舗から移動を行い、6月に現店舗の解体工事と改修工事に着手し10月末の完成を目指す。集客力の高揚と魅力ある店舗づくり、そして運営体制の強化を図る検討委員会を8回開催し、新しい運営案、収支計画案ができた。7月中には、株式会社設立を行い仮設店舗の運営と「村の駅ひだか」の

開店準備に取り組み、早期に村の駅ひだか出荷者部会組織を立ち上げ、農産物等の供給体制の準備をしていく。駅長（支配人）については、2人の方より応募があり、面接の結果村内の方に決定をした。また、収支計画案の説明を受ける。そして、オムライス街道のさ



進む「さんさん市」改修工事

らなる振興発展に向けた取り組み等の説明を受ける。

片岡教育長より

図書館基本構想の説明を受ける。入館者の増に向けたキヤッチフレーズ、蔵書数5万冊を目指す。図書館建て替えについて報告を受ける。建設場所は、隣家にご迷惑を掛けないよう現位置より少し移動する。建築面積は、日下小学校体育館の2分の1程度の面積、職員数は、3人とし常時2人の職員を配置したいと考える。

日高村治水対策 特別委員会



委員長 矢野孝明

5月22日（木）・午後3時
より

大川内建設課長より

①江尻親水公園構想は、「かわまちづくり計画」が認

定登録され、平成31年度完成を目指す。

②日下川残土処理場は下分地区、柱谷地区を候補地とし、地権者の方々に協力をお願いしたい。

③沖名残土処理場の引き渡しは、排水路に欠陥があり補強工事完成後に引き渡しを受ける。

④河川改修工事計画は、県の計画策定内容を6月29日に地権者、水組合長、自治会長に説明会を行い、詳細計画に取り組みたい。



一般質問に4氏が立つ



西川龍子議員

「保育料無料化で定住促進を」

質問 大川村、馬路村が人口増への施策として保育料無料を実施。日高村でも思い切った施策が重要、保育料無料化の考えは。

答弁 戸梶村長

有効な手段と思うが、毎年4千万円の財源が厳しい。庁内で立ち上げている「少子高齢人口減少対策検討委員会」の中で住宅対策等も含め、他町村との差を縮める中で、子育て部門では大きな手段でもあり、検討するが现阶段での無料化は厳しい。

質問 地の利を活かした宅地造成を「子育ての村」、「福祉の村」をうたい文句に早急に実現すべき。

答弁 戸梶村長

本年度は1人の専任を雇用し村内の適地調査を実施する。将来への投資的なものであり、慎重に対応していく。

高校受験への学習支援を

質問 来年から高校受験制度が、大きく変更され大変厳しくなる。子どもの貧困格差をなくするためにも、保護者の経済的負担軽減策として、学習支援策を要望する。

答弁 片岡教育長

平成26年度は、生活困窮者自立支援法のモデル事業として、新たに実施、対象者も拡大された。学習時間も1時間の延長が可能となり、学校のクラブ活動をしている生徒も参加できる態勢が整った。県中央西福祉保健所と事業実施の協議も始めており、7月より日高中学校で開始を計画している。多くの生徒に参加していただきたい。

デマンドバスの利便性向上を

質問 日高村では、今年9月より土電バス運行が廃止され、デマンドバスの運行が頼りとなるが、苦

情や要望が数多くある。村民が安心して利用できるデマンドバスの運行を要望する。

答弁 森下(純) 総務課長

予約制で村内を運行しており、当日乗車はできない。月平均416人の利用があり、1台での運行は限界となっている。12人の方が土電バスを利用し通院している。デマンドバス運行の年間経費は550万円となっている。今後については、6月末に開催予定の地域交通会議でバスの台数や運行コース、有料化、JRへの乗り継ぎ等を検討する。

大型粗大ゴミ収集の早期実現を

質問 大型粗大ゴミ収集を望む声を多くの

主婦からいただいた。今年ゴミ搬入が2回になり大変喜ばれているが、持っていけない方々からは、不満の声も多い。来年から年2回の収集を主婦の代弁者として要望する。

答弁 藤田産業環境課長

本年度、年2回の大型粗大ゴミ搬入を初めて実施する。この結果により今後を検討する。



大型粗大ゴミ搬入状況

福井地裁判決

画期的判決

四つの意義



野村重夫議員

ストップの判決を下した。」と思うがどうか。

答弁 谷本副村長

判決理由の中に生存を基礎とする人格権が、すべての分野において最高の価値を持つとされている。

本質的に危険だ

具体的危険性がある限り、稼働は認められないという考え方に基づく判決である。

答弁 戸梶村長

質問 関西電力大飯原発3号、4号機の再稼働差し止めを命じた福井地裁判決をどう受けとめるか。

人格権が最優先

判決は、人格権が人命を基礎とし日本の法制上で最優先されていると述べている。「国民の命と暮らしを守ることに上り大切にすることはないという立場にたつて、再稼働

答弁 谷本副村長

原子力発電の安全性の中で事故を起こした場合、止める、冷やす、外に出さないという大原則がある。それが果たされなかったと判決の中に明

記されている。

安全神話を断罪

質問 今回の判決で被告の関西電力は、基準地震動を700ガルとし、1.8倍の1千260ガルまで耐えられる。基準地震動を超える地震が大飯原発に到来することは、まず考えられないと主張。これに対し

答弁 戸梶村長

の貿易赤字が出るとしても、これを国富の流出や喪失というべきではなく、豊かな国土と、そこに国民が根を下ろして生活していることが国富であり、これを取り戻すことができないことが国富の喪失といっているが。

原子力発電所の役割は、経済活動、日常生活を含めた課題があるが、安全第一でなければならぬ。

質問 事故が起これば被害は、時間的にも空間的にも際限なく広がると主張してきた。「同じ論理が司法によって下されたのは大変重要だ」どう考えるか。

答弁 谷本副村長

そのような内容が、判決文には記載されている。

コスト優先拒否

質問 コストの問題に関連して、判決は国富の流出や喪失の議論がある。原発の運転停止による多額

答弁 戸梶村長

ることになると思うが。安全第一は、同じ考えである。安全でない原発は、再稼働を認めるべきでない。原子力に頼らない自然エネルギーへのゆるやかな転換等、新エネルギー源にシフトしていくべきだ。伊方原発も現在、安全性について議論検討されている。



伊方原子力発電所

宅地造成の 具体化は



森下芳文議員

質問 村長は2期目当選後、定住促進策として、宅地造成を模索と高知新聞に抱負を述べているが具体化はいつか。

答弁 戸梶村長

西バイパスが平成27年度に鎌田まで開通し、何年かのちに波川まで開通した時が目標である。

人口増の 秘策はあるか

質問 日本全体の人口が減少している中で、日高村へ集まってくださいというのは至難の業だと思いが、宅地造成と絡めて南海トラフ大地震対策で、高知市の津波による浸水被害が危惧される所からの移動が想定される。今、日高村で一番に考えられる人口増の妙案だと思いが、他に秘策はあるか。

答弁 戸梶村長

秘策はないが、津波被害はないと言いたくはない。高知市に近い村としてのメリットを生かす。

山を開いて宅地造成

質問 宣伝文句に津波は心配ないと言いたくはない。それは分かるが、実際山を開いて宅地を造成すれば、言わなくても分かる。村には適地と思われる山が何箇所かあるが、宅地造成を図る考えはないか。

答弁 戸梶村長

本郷だけで3カ所位ある。条件は整っている。宅地造成では、土地販売価格が高額になる問題もある。

入札制度について

質問 瑕疵担保条項に抵触することがあれば一定の期間、指名から外す条項を入れることは考えていないか。

答弁 戸梶村長

瑕疵担保の事項に抵触した場合は、度合によってペナルティーの基準がある。よって、二重の制裁はできない。

さんさん市は 生産者を大事に

質問 商品供給者の声をきちんと受けとめて、安定した供給ができる組織作りが大切では。

答弁 藤田産業環境課長

農家の方のご意見も聞きながら取り組みたい。

その他の質問

1. 交通会議の委員構成は。
2. 敬老会補助金について。
3. 産廃施設への放射線汚染物質の搬入の根拠規定は。
4. さんさん市の売上げ減少と結果責任について。
5. 河川管理の責任はどこに。
6. 河川の動態調査について。
7. 水道の耐震化について。



延伸する高知西バイパス（鎌田付近より西方を望む）

江尻親水公園の 早期完成を



森下雅文議員

質問 江尻親水公園の事業採択の見通しは。

答弁 大川内建設課長 国は、来年度の採択に向けて取り組んでいる。概ね5カ年を用途に事業を行うことになる。

質問 搬入路東側に桜等を植樹し公園化してはどうか。

答弁 大川内建設課長 管理等もあり、検討し可能ならば整備をする。

渋川残土処理場

質問 村として新規に取り組むことはあるか。子ども子育て支援の条例制定はいつになるか。

答弁 井上教育次長 9月議会への条例案上程に取り組んでいる。

答弁 戸梶村長 財政的な制約もあるが、ニーズ調査の結果を踏まえ計画をたてる。

宅地造成に ilişkin

質問 村内で適地を探すとのことだが、結果がでるのはいつか。

答弁 戸梶村長 地権者との交渉にもよるが、できれば適地の選定を今年中にと考えている。そして、事業の可能性を来年度以降に模索し

出生率の向上対策

たい。

全国学力 テストについて

質問 テストの結果は。結果の公表をするか。

答弁 片岡教育長 基礎学力を問う問題については、7〜8割の正答率。複合的な思考問題となった。結果の公表はしない。

学校給食の アレルギー防止

質問 村の学校給食アレルギーの現状は。

答弁 井上教育次長 特に深刻な事故等はない。生命にかかわることもあり、8月頃の教員研修の中で取り組みたい。

その他の質問

1. 新図書館の蔵書計画とサービス。
2. デマンドバスの利用状況。
3. 選挙投票率の向上策。

4. 障がい者施設からの優先調達。
5. 分権改革の自治体調査。
6. 地方公務員給与の見直し。
7. 自治体の新広域連携。
8. 道州制推進基本法。
9. 国の活性化補助金の配分。
10. 複式簿記導入と固定資産台帳の整備。
11. TPPと集团的自衛
12. アルコール健康障害対策基本法。
13. 政府の骨太方針。
14. 日高村内への移住対策。
15. 交流人口の増加策。
16. 教育委員会改革。
17. 改正教科書無償措置法。
18. 小中一貫校について。
19. 小中連携と就学前教育との連携。



現図書館コスモス文庫の内部状況

議
会
日
誌



〃	30	27	24	21	19	9 ~ 13	6 / 5
盟会総会 議長	仁淀川改修期成同 議長	期成同盟会総会 議長	国道33号整備促進 議長	長会理事会 議長	高知県町村議会議 議長	例月出納検査 議長	しふれ愛運動会 議長
						第34回日高村ふく 議長・副議長	組合議会
						日高村佐川町学校 定例会	日高村議会第2回
							日高村農業委員会



改良が待たれるR33(下分鍛冶屋付近)



(本郷 父原付近)

編集後記

日高村は、昭和29年10月、旧日下村・能津村・加茂村の一部の3村が合併し、新たに日高村として発足しました。

この地域の歴史は古く、特に土佐二ノ宮小村神社は、皆様もご存じの聖徳太子の父親である「用明天皇時代」、今より約1千400年前に創建され、国宝の「金銅荘環頭大刀拵・大刀身」などを所蔵する由緒ある神社であることから、古いむかしの時代背景を空想すると、神社・住民が共に村の繁栄を願う悠久の時を過ごしていたことが想像されま

特に昭和50年の台風5号の豪雨は、時間雨量が100mmをこしており、日下平野は完全に水没し、現在の役場庁舎入り口にも高さ2mの水没位置が表示されておりま

す。脆弱な治水状況解決のため、住民・村政・議会等が一丸となつて活動したことで、昭和57年に日下川放水トンネルを完成させ、平成10年に日下川調整池、平成23年には戸梶川調整池を完成させました。

更に日下橋合流点より下流の河川改修を早急に進めることで、全住民の念願である治水問題を解決し、メダカや水生昆虫が多く住み、トンボ等が飛び交い自然と共栄し魅力ある村創りを目指す第5次日高村総合振興計画「ひだかスマイルプラン」の達成に向け、再び住民・村政・議会等が一丸となり頑張りました。



ポーサボテンの花

次回議会は、9月8日(月)10時に開会の予定です。
お気軽に、傍聴にお越しください。

議会広報委員会へのご意見・ご提言を、よろしくお願ひ申し上げます。

「日高村議会だより」は、資源保護のため再生紙を使用しています。